

社会学研究科

研究指導概要

博士前期課程

1. 各セメスタの指導内容（モデルケース）

1 セメスタ

- ・指導教授の決定、「学位論文題目届」を提出する（4月）。
- ・指導教員と修士論文のテーマ・方法などについて相談する。
- ・博士前期課程における研究計画を検討し、先行研究の検討に着手する。
- ・研究テーマに合わせ、科目履修を進め、調査・実験等の方法論を修得する。

2 セメスタ

- ・具体的な研究テーマに関して資料収集等を進め、当該分野の先行研究の検討を深め、学会での発表や論文投稿を目指し研究を具体化する。
- ・研究課題の意義・手法・先行研究などについて報告・討論し、研究者としてのプレゼンテーション力を養う。
- ・修士論文の方向性について指導教員と相談する（「研究指導」等）

3 セメスタ

- ・「学位論文題目届」を提出する。（4月）
- ・指導教員と修士論文のテーマおよび内容などについて相談・確認する
- ・資料収集・先行研究等の検討を続け、研究の視座・論理・手法の妥当性を検証し、必要に応じ実証的な知見を得たうえで、研究成果を取りまとめる。

4 セメスタ

- ・研究の精度を高め、修士学位論文にまとめる。
- ・修士論文「審査願」に指導教授の署名・捺印を受け（修士論文提出時に必要・おおむね12月下旬～1月はじめ）、修士論文を「論文要旨」等とともに提出する。（1月上旬）
- ・口頭試験を受ける。（1月下旬～2月上旬）

2. 論文報告会（論文発表会）等の概要と発表の要件等（モデルケース）

<社会学専攻>

- ・「研究指導」等の場で年1～2回程度、中間報告を行う。

<社会心理学専攻>

- ・各学年において、年1～2回の中間報告会で進捗状況の報告を義務づける。また修士論文の提出後には、最終報告会で論文内容について報告することを義務づける。

3. 特定課題研究論文

社会学専攻では、修士学位論文に代えて特定課題研究論文の提出を認めている。

『特定課題研究論文』とは、「特定の課題について、実践的に調査・研究した論文」をいう。

- （1）特定課題研究論文は、12,000字以上のものを3本提出する。
- （2）修士学位論文または特定課題研究論文については、原則として入学時に選択する（2年次の7月末まで変更を認める）。
- （3）博士後期課程進学希望者は、修士学位論文を選択すること。
- （4）特定課題研究論文の1・2・3本目については、主指導教授の指示を受け、適切な時期に、主・副指導教授に直接提出すること。また、3本まとめたものを、下記の通り、修士学位論文に準じた時期に、大学院教務課に提出する必要がある。3本まとめたものの提出にあたっては、提出時期・様式とも修士学位論文に準ずる。

題目届提出締切	論文提出時期（3本まとめたもの）	提出先
4月	修士学位論文提出時期に同じ	大学院教務課

- （5）特定課題研究論文を選択した場合の研究指導スケジュールは、修士学位論文を選択した場合に準ずる。

博士後期課程

1. 各セメスタの指導内容（モデルケース）

1 セメスタ

- ・博士後期課程における研究テーマの意義と展開を検討する。
- ・博士後期課程における研究計画を立案する。

2 セメスタ

- ・研究テーマに即して資料収集等を進めるとともに、当該分野の先行研究の検討を深める。
- ・指導教授と相談の上、学会での発表・論文作成を目指して研究を具体化・実施する。

3 セメスタ

- ・資料収集等を進め、かつ知見を深め広げるための先行研究等の検討を続ける。
- ・指導教授と相談の上、学会での発表・論文作成を目指して研究を具体化・実施する。

4 セメスタ

- ・資料収集等を進め、かつ知見を深め広げるための先行研究等の検討をまとめる。
- ・指導教授と相談の上、学会での発表・論文作成を目指して研究を具体化・実施する。
- ・この時期までに査読付き雑誌に最低1本の論文を投稿・掲載されるよう努力する

5 セメスタ

- ・主指導教授が、研究科委員会の承認のもとに、2名以上の本学教員（原則として所属する専攻の博士後期課程研究指導担当教員）とともに課程博士論文提出指導小委員会を構成し、論文が本審査を受けるに値するかどうかの審査が行われる。
- ・指導教授と相談の上、6月末ごろまでに博士論文の下書きを完成させる。

6 セメスタ

- ・課程博士論文提出指導小委員会からの、本審査を受けるに値すると判断した旨の通知を受け、博士論文の本審査にむけて、論文内容を修正し、学位論文を提出し（11月上旬）、審査を受ける。

2. 論文報告会（論文発表会）等の概要と発表の要件等

- ・毎年1 - 2回の中間報告を義務づける。
- ・論文提出後に開催される公聴会に参加し、発表する。

社会学研究科 社会学専攻・社会心理学専攻

専門社会調査士資格の取得について

専門社会調査士とは、下記の要件を満たした者について、一般社団法人 社会調査協会（以下、社会調査協会と呼称）に申請し、社会調査協会が認定する資格である。

■資格申請のための要件

(1) 社会調査士資格を有すること。

〔2016年度以前入学生〕

社会調査士資格を有していない場合であっても、社会調査士資格の標準カリキュラムに対応する科目の単位を取得していれば、専門社会調査士資格を取得する際、同時に申請することができる（この場合、以下「E」・「F」科目は選択制、「G」科目は不要）。

また、所定の手続（「許可願」を提出）を行うことによって、本学社会学部で開講する社会調査士資格の下記科目を履修することができる。詳細は掲示で確認すること。

社会調査士資格の標準カリキュラム（社会学部開講科目）

区分	本学社会学部開講科目名	備考
A	社会調査入門 A / 社会調査入門 I	セット履修
B	社会調査入門 B / 社会調査入門 II	
C	統計情報処理および実習 I（第1部） 統計情報処理および実習（第2部）	いずれか1科目で可
D	社会統計学	いずれか1科目で可
E	社会統計解析法	
F	質的調査法	
G	社会調査および実習	専門社会調査士資格を同時申請する場合は不要

※ 特記がない限り、第1部・第2部双方で開講

※ 希望する曜時限の科目が学部生で定員を超える場合等は、履修不可あるいは別の曜時限の同一科目に変更となることがある。

〔2017年度入学生〕

上記学部開講科目の履修を希望する場合は、所定の選考を経た上で、学部科目等履修生（科目履修生／諸資格履修生）として履修が認められる。

詳しくは p.62 「21. 大学院生の学部開講科目の履修について」を参照すること。

(2) 以下の専門社会調査士科目「6科目」（12単位）を履修し、かつ単位を取得すること。

（2014年度以前入学生は、入学年度の履修要覧を参考にすること）

①社会学専攻の場合

区分	社会学専攻開講科目名	単位数
H	社会学特論Ⅲ A	2 単位
	社会学特論Ⅲ B	2 単位
I	社会学特論Ⅳ A	2 単位
	社会学特論Ⅳ B	2 単位
J	社会学特論Ⅴ	2 単位
	社会学特論Ⅵ	2 単位

②社会心理学専攻の場合

区分	社会学専攻開講科目名	単位数
H	社会心理学研究法ⅡA	2単位
	社会心理学研究法ⅡB	2単位
I	社会心理学研究法ⅢA	2単位
	社会心理学研究法ⅢB	2単位
J	社会心理学研究法Ⅳ	2単位
	社会心理学研究法Ⅴ	2単位

(3) 社会調査結果を用いた研究論文（修士論文を含む）を執筆すること。

- ・ここで言う社会調査とは、定量調査あるいは定性調査を指し、他者の調査したデータの二次的利用は含まない。
- ・定性調査には、内容分析、聞き取り調査、参与観察法、ドキュメント分析、フィールドワーク、インタビュー、ライフストーリー分析、会話分析などを含む。
- ・修士論文以外の研究論文とは、原則として学術団体の学会誌に、査読を経て掲載された研究論文を指す。
- ・申請時には、研究論文（修士論文を含む）2部（同じものを2部）の提出が必要である。

■申請手続

大学院教務課を通じて社会調査協会に申請する。

「申請書類・提出方法・提出期間」の詳細は、2018年1月頃大学院教務課の掲示で確認すること。

申請に必要な書類

- ① 専門社会調査士認定申請書 ★
 - ② 履歴書 ★
 - ③ 研究論文概要説明書（修士論文を含む） ★
 - ④ 研究論文（修士論文を含む）同じものを2部
 - ⑤ 単位取得・修士修了を証明する書類 ☆
 - ⑥ 手数料振り込み後の振替払込請求書兼受領証のコピー ☆（注）
- 【以下、社会調査士資格を同時に申請する場合のみ】
- ⑦ 社会調査士認定申請書 ★
 - ⑧ 大学での単位取得・卒業を証明する書類 ☆

★：社会調査協会のホームページ（<http://jasr.or.jp/>）よりフォームをダウンロード、記入

☆：大学院教務課で入手

※ 大学院教務課で配付する振込用紙で、手数料を振り込み、振替払込請求書兼受領証のコピーを①に貼り付けること。

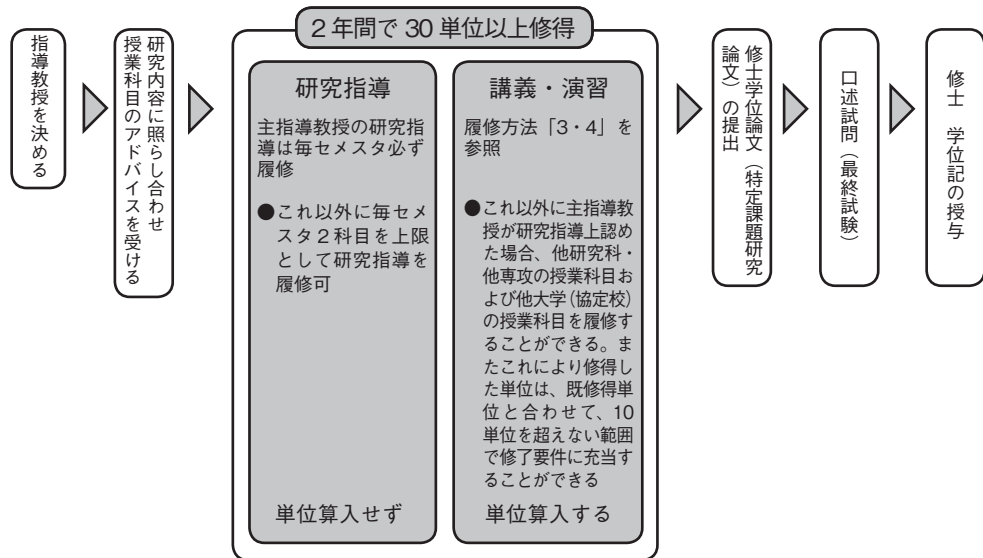
※ 手数料は、以下のとおり。

- ・ 社会調査士資格を取得している学生 : 32,400円
- ・ 社会調査士資格を取得していない学生 : 43,200円

（いずれも2016年度参考）

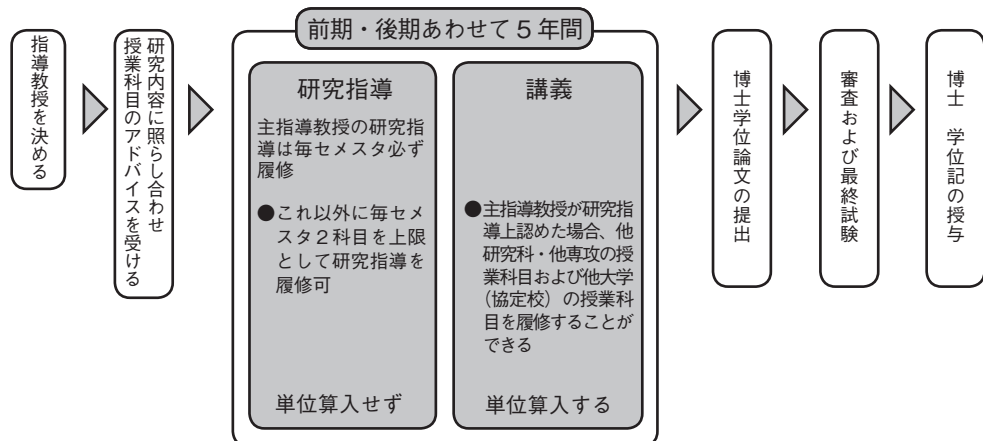
社会学専攻

前期課程 履修の流れ



ただし、2014年度以前入学生についてはセメスタを年度に読み替える

後期課程 履修の流れ



ただし、2014年度以前入学生についてはセメスタを年度に読み替える

	授業科目・研究指導						講義・演習の別	職名	担当教員	備考	
	2014年度以前 入学生適用	単位	2015年度以降 入学生適用	サブタイトル	単位	租 ナンバリング					学期
メディアコミュニケーション学コース科目	社会情報学特論Ⅰ	4	社会情報学特論ⅠA 社会情報学特論ⅠB	マス・コミュニケーション論	2	SOC635	春秋	講義	教授	長 広 美	社会情報学研究指導 VA/Bと共通
	社会情報学特論Ⅱ	4	社会情報学特論ⅡA 社会情報学特論ⅡB	広 告 論	2	SOC637	春秋	講義	准教授	藺 部 靖 史	社会情報学研究指導 VA/Bと共通
	社会情報学特論Ⅲ	4	社会情報学特論ⅢA 社会情報学特論ⅢB	社会情報学	2	SOC639	春秋	講義	教授	中 村 功	社会情報学研究指導 ⅢA②/B②と共通
	社会情報学特論Ⅳ	4	社会情報学特論ⅣA 社会情報学特論ⅣB	情 報 学	2	SOC641		講義			本年度休講
	社会情報学特論Ⅴ	2	社会情報学特論Ⅴ	特 別 講 義	2	SOC643	春	講義	非常勤講師	白 戸 健 一 郎	
	社会情報学演習Ⅰ	4	社会情報学演習ⅠA 社会情報学演習ⅠB	マス・コミュニケーション論	2	SOC644		演習			本年度休講
	社会情報学演習Ⅱ	4	社会情報学演習ⅡA 社会情報学演習ⅡB	ジャーナリズム論	2	SOC646	春秋	演習	教授	水 野 剛 也	社会情報学研究指導 ⅡA/Bと共通
	社会情報学演習Ⅲ	4	社会情報学演習ⅢA 社会情報学演習ⅢB	社会情報学	2	SOC648		演習			本年度休講
	社会情報学演習Ⅳ	4	社会情報学演習ⅣA 社会情報学演習ⅣB	情 報 学	2	SOC650	春秋	演習	教授	海 野 敏	社会情報学研究指導 ⅣA/Bと共通
	社会学研究指導Ⅰ		社会学研究指導ⅠA 社会学研究指導ⅠB	現代家族社会学		REG601	春秋		教授	西 野 理 子	
	社会学研究指導Ⅱ		社会学研究指導ⅡA 社会学研究指導ⅡB	現代文化社会学		REG603	春秋		教授	平 島 み さ	社会学特論ⅠA/B と共通
	社会学研究指導Ⅲ		社会学研究指導ⅢA 社会学研究指導ⅢB	現代地域社会学		REG605	春秋		准教授	西 野 淑 美	
社会学研究指導Ⅳ		社会学研究指導ⅣA 社会学研究指導ⅣB	現代社会学理論		REG607	春秋		教授	宇 都 宮 京 子		
社会学研究指導Ⅴ		社会学研究指導ⅤA 社会学研究指導ⅤB	現代組織社会学		REG609	春秋		准教授	小 山 裕		
社会学研究指導Ⅵ		社会学研究指導ⅥA 社会学研究指導ⅥB	現代犯罪社会学		REG611	春秋		准教授	本 田 宏 治		
社会学研究指導Ⅶ		社会学研究指導ⅦA 社会学研究指導ⅦB	現代宗教社会学		REG613	春秋		准教授	高 橋 典 史		
		社会学研究指導ⅧA 社会学研究指導ⅧB	現代国際社会学		REG615	春秋		准教授	米 原 あ き	2015年度以降入学生 のみ履修可	
社会文化共生学コース研究指導	文化人類学研究指導Ⅰ		文化人類学研究指導ⅠA 文化人類学研究指導ⅠB	社会貢献概論		REG617	春秋	教授	青 木 辰 司		
	文化人類学研究指導Ⅱ		文化人類学研究指導ⅡA 文化人類学研究指導ⅡB	社会人類学		REG619	春秋	教授	植 野 弘 子		
	文化人類学研究指導Ⅲ		文化人類学研究指導ⅢA 文化人類学研究指導ⅢB	教育人類学		REG621	春秋	教授	山 本 須 美 子		
	文化人類学研究指導Ⅳ		文化人類学研究指導ⅣA 文化人類学研究指導ⅣB	社会文化共生論		REG623	春秋	教授	井 沢 泰 樹		
			文化人類学研究指導ⅤA 文化人類学研究指導ⅤB	地域共生論		REG625	春秋	教授	小 林 正 夫	2015年度以降入学生 のみ履修可	
			文化人類学研究指導ⅥA 文化人類学研究指導ⅥB	民族誌学		REG627					本年度休講
						REG628					

社会学

	授業科目・研究指導					講義・演習の別	職名	担当教員	備考	
	2014年度以前入学生適用	単位	2015年度以降入学生適用	サブタイトル	単位					租 ナンバリング
メディアコミュニケーション学コース研究指導	社会情報学研究指導Ⅰ		社会情報学研究指導ⅠA 社会情報学研究指導ⅠB	マス・コミュニケーション論		REG629 REG630	春秋 春秋	教授	大谷 奈緒子	
	社会情報学研究指導Ⅱ		社会情報学研究指導ⅡA 社会情報学研究指導ⅡB	ジャーナリズム論		REG631 REG632	春秋 春秋	教授	水野 剛也	
	社会情報学研究指導Ⅲ①		社会情報学研究指導ⅢA① 社会情報学研究指導ⅢB①	社会情報学		REG633 REG634				本年度休講
	社会情報学研究指導Ⅲ②		社会情報学研究指導ⅢA② 社会情報学研究指導ⅢB②	社会情報学		REG635 REG636	春秋 春秋	教授	中村 功	
	社会情報学研究指導Ⅳ		社会情報学研究指導ⅣA 社会情報学研究指導ⅣB	情報学		REG637 REG638	春秋 春秋	教授	海野 敏	
	社会情報学研究指導Ⅴ		社会情報学研究指導ⅤA 社会情報学研究指導ⅤB	マス・コミュニケーション論		REG639 REG640	春秋 春秋	教授	長 広美	
			社会情報学研究指導ⅥA 社会情報学研究指導ⅥB	広告論		REG641 REG642	春秋 春秋	准教授	蘭部 靖史	2015年度以降入学生のみ履修可

修了に必要な単位等

- 1) 修了要件となる科目で30単位以上修得すること。
- 2) 主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。

履修方法

1. 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
2. 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・修得することができる（各研究指導は、指定された講義または演習において行う）。
3. 主指導教授が担当する「講義」または「演習」は、同一科目を在学中各2回（8単位）まで履修・単位修得することができ、かつ修得した単位は修了単位として認められる。3回目以降（長期履修学生および原級した場合等）の履修・聴講は、成績および単位は認定されるが、修了要件としては扱わない。なお、ここで対象とする「講義」または「演習」は、「研究指導」と共通して開講されるものに限る。
4. 履修方法3以外の「講義」または「演習」は、同一科目を在学中何回でも履修・単位修得することができるが、この場合、修了単位として認められるのは、最初に修得した成績および単位のみとする。
5. 本表に掲げたものの他、指導教授が教育上必要と認めるときは、学則第8条に基づき、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる（同一科目は1回目のみ修了要件として扱い、2回目以降の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない）。また、上記により履修し修得した単位は、学則第10条の2に基づく、本大学院に入学する前に修得し、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなす単位（既修得単位）と合わせて、10単位を超えない範囲で修了要件に充当することができる。

注) 通年制の学生は、「セメスタ」を「年度」と読み替えること。

- 専門社会調査士の資格取得希望者は、pp.250～251を参照のうえ、不明な点があれば、2017年度本学連絡責任者（水野 剛也教授）または大学院教務課窓口へ必ず相談すること。

博士後期課程

授業科目・研究指導					講義・演習の別	職名	担当教員	備考
2014年度以前入学生適用	単位	2015年度以降入学生適用	単位	科目ナンバリング				
社会学特殊研究Ⅰ	4	社会学特殊研究ⅠA 社会学特殊研究ⅠB	2 2	SOC701 SOC702	春秋	講義	教授 宇都宮 京子	社会学研究指導ⅠA/Bと共通
社会学特殊研究Ⅱ	4	社会学特殊研究ⅡA 社会学特殊研究ⅡB	2 2	SOC703 SOC704		講義		本年度休講
社会学特殊研究Ⅲ	4	社会学特殊研究ⅢA 社会学特殊研究ⅢB	2 2	SOC705 SOC706		講義		本年度休講
社会学特殊研究Ⅳ	4	社会学特殊研究ⅣA 社会学特殊研究ⅣB	2 2	SOC707 SOC708		講義		本年度休講
社会学特殊研究Ⅴ	4	社会学特殊研究ⅤA 社会学特殊研究ⅤB	2 2	SOC709 SOC710		講義		本年度休講
社会学特殊研究Ⅵ	4	社会学特殊研究ⅥA 社会学特殊研究ⅥB	2 2	SOC711 SOC712	春秋	講義	教授 西野 理子	社会学研究指導ⅥA/Bと共通
文化人類学特殊研究	4	文化人類学特殊研究ⅠA 文化人類学特殊研究ⅠB	2 2	CUA701 CUA702	春秋	講義	教授 植野 弘子	文化人類学研究指導ⅠA/Bと共通
		文化人類学特殊研究ⅡA 文化人類学特殊研究ⅡB	2 2	CUA703 CUA704	春秋	講義	教授 山本 須美子	文化人類学研究指導ⅡA/Bと共通 2015年度以降入学生のみ履修可
社会情報学特殊研究Ⅰ	4	社会情報学特殊研究ⅠA 社会情報学特殊研究ⅠB	2 2	SOC713 SOC714		講義		本年度休講
社会情報学特殊研究Ⅱ	4	社会情報学特殊研究ⅡA 社会情報学特殊研究ⅡB	2 2	SOC715 SOC716	春秋	講義	教授 水野 剛也	社会情報学研究指導ⅡA/Bと共通
社会情報学特殊研究Ⅲ	4	社会情報学特殊研究ⅢA 社会情報学特殊研究ⅢB	2 2	SOC717 SOC718	春秋	講義	教授 中村 功	社会情報学研究指導ⅢA/Bと共通
社会学研究指導Ⅰ		社会学研究指導ⅠA 社会学研究指導ⅠB		REG701 REG702	春秋		教授 宇都宮 京子	
社会学研究指導Ⅱ		社会学研究指導ⅡA 社会学研究指導ⅡB		REG703 REG704				本年度休講
社会学研究指導Ⅲ		社会学研究指導ⅢA 社会学研究指導ⅢB		REG705 REG706				本年度休講
社会学研究指導Ⅳ		社会学研究指導ⅣA 社会学研究指導ⅣB		REG707 REG708				本年度休講
社会学研究指導Ⅴ		社会学研究指導ⅤA 社会学研究指導ⅤB		REG711 REG712				本年度休講
社会学研究指導Ⅵ		社会学研究指導ⅥA 社会学研究指導ⅥB		REG709 REG710	春秋		教授 西野 理子	
文化人類学研究指導		文化人類学研究指導ⅠA 文化人類学研究指導ⅠB		REG713 REG714	春秋		教授 植野 弘子	
		文化人類学研究指導ⅡA 文化人類学研究指導ⅡB		REG715 REG716	春秋		教授 山本 須美子	2015年度以降入学生のみ履修可
社会情報学研究指導Ⅰ		社会情報学研究指導ⅠA 社会情報学研究指導ⅠB		REG717 REG718				本年度休講
社会情報学研究指導Ⅱ		社会情報学研究指導ⅡA 社会情報学研究指導ⅡB		REG719 REG720	春秋		教授 水野 剛也	
社会情報学研究指導Ⅲ		社会情報学研究指導ⅢA 社会情報学研究指導ⅢB		REG721 REG722	春秋		教授 中村 功	

社会学

修了に必要な単位等

主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。

履修方法

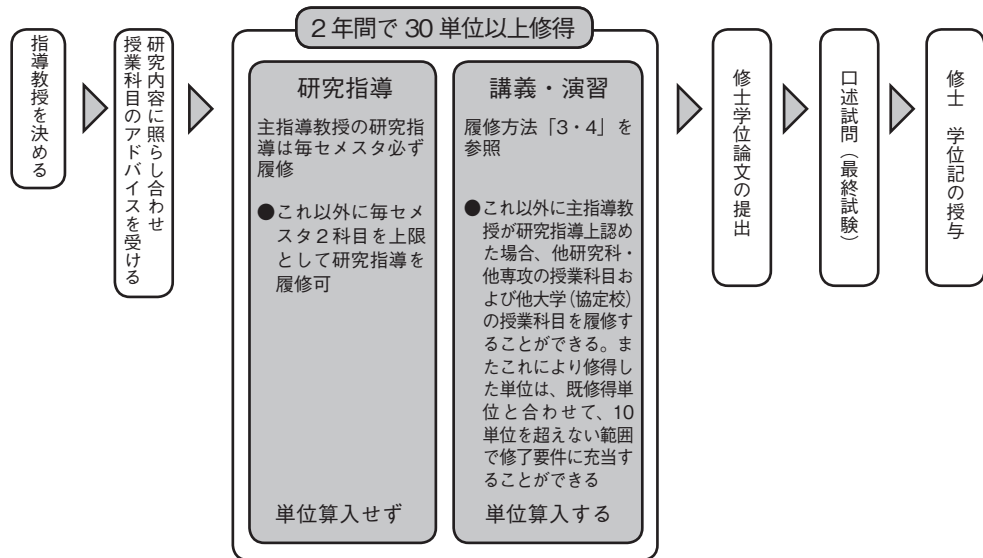
- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・修得することができる（各研究指導は、指定された講義において行う）。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が研究指導上必要と認めた場合は、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる。

注）通年制の学生は、「セメスタ」を「年度」と読み替えること。

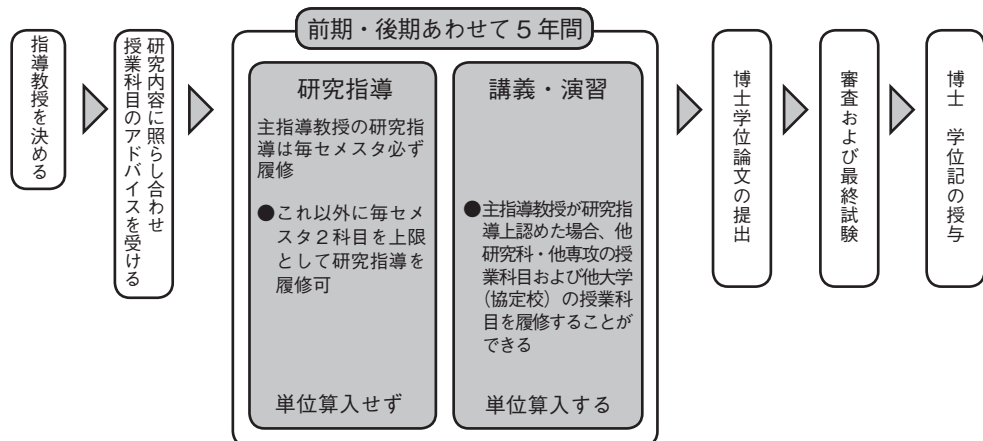
■専門社会調査士の資格取得希望者は、pp.250～251を参照のうえ、不明な点があれば、2017年度本学連絡責任者（水野 剛也教授）または大学院教務課窓口へ必ず相談すること。
（資格申請のための要件のうち、p.250（2）①の科目は、博士前期課程開講科目のため、修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない）

社会心理学専攻

前期課程 履修の流れ



後期課程 履修の流れ



ただし、2014年度以前入学生についてはセメスタを年度に読み替える

社会心理学専攻

博士前期課程

授業科目・研究指導	サブタイトル	単 位	科 目 ナンバリング	学 期	講義・演習の別	職 名	担 当 教 員	備 考
基礎社会心理学	-	2	SOP601	春	講義	教授	堀毛一也	
外国語表現法A	英語ライティング	2	FLE601	春	講義	非常勤講師(兼任)	トバロフリュボミール	
外国語表現法B	英語プレゼンテーション	2	FLE602	秋	講義	非常勤講師(兼任)	トバロフリュボミール	
社会心理学研究法IA	情報処理	2	SOP602	春	講義	教授	大島尚	社会心理学研究指導XA/Bと共通
社会心理学研究法IB		2	SOP603	秋				
社会心理学研究法IIA	調査法	2	SOC603	春	講義	非常勤講師(兼任)	大竹延幸	
社会心理学研究法IIB		2	SOC604	秋	講義	教授	山田一成	
社会心理学研究法IIIA	統計解析および多変量解析	2	SOC605	春	講義	非常勤講師	久保沙織	
社会心理学研究法IIIB		2	SOC606	秋				
社会心理学研究法IV	質的調査法1	2	SOC607	春	講義	非常勤講師(兼任)	大石高典	
社会心理学研究法V	質的調査法2	2	SOC608	秋	講義	教授(兼任)	水野剛也	
社会心理学研究法VIA	実験法	2	EXP601	春	講義	准教授	尾崎由佳	
社会心理学研究法VIB		2	EXP602	秋				
社会心理学特論IA	認知	2	EXP603	春	講義	准教授	尾崎由佳	社会心理学研究指導IIA/Bと共通
社会心理学特論IB		2	EXP604	秋				
社会心理学特論IIA	対人関係	2	SOP604	春	講義	教授	片山美由紀	社会心理学研究指導XIA/Bと共通
社会心理学特論IIB		2	SOP605	秋				
社会心理学特論IIIA	発達	2	EDP601	春	講義	教授	久保ゆかり	社会心理学研究指導VIA/Bと共通
社会心理学特論IIIB		2	EDP602	秋				
社会心理学特論IV A	適応	2	SOP606		講義			本年度休講
社会心理学特論IV B		2	SOP607					
社会心理学特論VA	感情・動機づけ	2	EXP605	春	講義	教授	戸梶重紀彦	社会心理学研究指導IXA/Bと共通
社会心理学特論VB		2	EXP606	秋				
社会心理学特論VIA	身体	2	CLI601		講義			本年度休講
社会心理学特論VIB		2	CLI602					
社会心理学特論VIIA	健康	2	CLI603	春	講義	教授	加藤司	社会心理学研究指導XIIA/Bと共通
社会心理学特論VII B		2	CLI604	秋				
社会心理学演習IA	態度	2	SOP608		演習			本年度休講
社会心理学演習IB		2	SOP609					
社会心理学演習IIA	自己	2	SOP610	春	演習	教授	安藤清志	社会心理学研究指導IIIA/Bと共通
社会心理学演習IIB		2	SOP611	秋				
社会心理学演習IIIA	性格	2	CLI605	春	演習	教授	松田英子	社会心理学研究指導VA/Bと共通
社会心理学演習IIIB		2	CLI606	秋				
社会心理学演習IV A	集団過程	2	SOP612	春	演習	教授	堀毛一也	社会心理学研究指導IVA/Bと共通
社会心理学演習IV B		2	SOP613	秋				
社会心理学演習VA	犯罪	2	CLI607	春	演習	教授	桐生正幸	社会心理学研究指導VIIA/Bと共通
社会心理学演習VB		2	CLI608	秋				
社会心理学演習VIA	社会意識	2	SOP614	春	演習	教授	山田一成	社会心理学研究指導IIIA/Bと共通
社会心理学演習VIB		2	SOP615	秋				
社会心理学総合研究A①		1	SEM601	春	演習	教授	安藤清志	
社会心理学総合研究B①		1	SEM602	秋				
社会心理学総合研究A②		1	SEM603	春	演習	教授	大島尚	
社会心理学総合研究B②		1	SEM604	秋				
社会心理学総合研究A③		1	SEM605	春	演習	准教授	尾崎由佳	
社会心理学総合研究B③		1	SEM606	秋				
社会心理学総合研究A④		1	SEM607	春	演習	教授	片山美由紀	
社会心理学総合研究B④		1	SEM608	秋				
社会心理学総合研究A⑤		1	SEM609	春	演習	教授	久保ゆかり	
社会心理学総合研究B⑤		1	SEM610	秋				
社会心理学総合研究A⑥		1	SEM611	春	演習	教授	戸梶重紀彦	
社会心理学総合研究B⑥		1	SEM612	秋				
社会心理学総合研究A⑦		1	SEM613		演習			本年度休講
社会心理学総合研究B⑦		1	SEM614					
社会心理学総合研究A⑧		1	SEM615		演習			本年度休講
社会心理学総合研究B⑧		1	SEM616					

社会心理学

授業科目・研究指導	サブタイトル	単位	科目ナンバリング	学期	講義・演習の別	職名	担当教員	備考
社会心理学総合研究A⑨		1	SEM617	春秋	演習	教授	松田英子	
社会心理学総合研究B⑨		1	SEM618	春秋	演習	教授	松田英子	
社会心理学総合研究A⑩		1	SEM619	春秋	演習	教授	堀毛一也	
社会心理学総合研究B⑩		1	SEM620	春秋	演習	教授	堀毛一也	
社会心理学総合研究A⑪		1	SEM621	春秋	演習	教授	桐生正幸	
社会心理学総合研究B⑪		1	SEM622	春秋	演習	教授	桐生正幸	
社会心理学総合研究A⑫		1	SEM623	春秋	演習	教授	山田一成	
社会心理学総合研究B⑫		1	SEM624	春秋	演習	教授	山田一成	
社会心理学総合研究A⑬		1	SEM625	春秋	演習	教授	加藤司	
社会心理学総合研究B⑬		1	SEM626	春秋	演習	教授	加藤司	
社会心理学研究指導I A	態度		REG601					本年度休講
社会心理学研究指導I B			REG602					
社会心理学研究指導II A	認知		REG603	春秋		准教授	尾崎由佳	
社会心理学研究指導II B			REG604					
社会心理学研究指導III A	自己		REG605	春秋		教授	安藤清志	
社会心理学研究指導III B			REG606					
社会心理学研究指導IV A	集団過程		REG607	春秋		教授	堀毛一也	
社会心理学研究指導IV B			REG608					
社会心理学研究指導V A	性格		REG609	春秋		教授	松田英子	
社会心理学研究指導V B			REG610					
社会心理学研究指導VI A	発達		REG611	春秋		教授	久保ゆかり	
社会心理学研究指導VI B			REG612					
社会心理学研究指導VII A	犯罪		REG613	春秋		教授	桐生正幸	
社会心理学研究指導VII B			REG614					
社会心理学研究指導VIII A	社会意識		REG615	春秋		教授	山田一成	
社会心理学研究指導VIII B			REG616					
社会心理学研究指導IX A	感情・動機づけ		REG617	春秋		教授	戸梶亜紀彦	
社会心理学研究指導IX B			REG618					
社会心理学研究指導X A	情報処理		REG619	春秋		教授	大島尚	
社会心理学研究指導X B			REG620					
社会心理学研究指導XI A	対人関係		REG621	春秋		教授	片山美由紀	
社会心理学研究指導XI B			REG622					
社会心理学研究指導XII A	健康		REG623	春秋		教授	加藤司	
社会心理学研究指導XII B			REG624					

修了に必要な単位等

- 1) 修了要件となる科目で30単位以上修得すること。
- 2) 主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。

履修方法

1. 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
2. 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目(主指導教授1名・副指導教授2名)を上限として、履修・修得することができる(各研究指導は、指定された講義または演習において行う)。
3. 主指導教授が担当する「講義」または「演習」は、同一科目を在学中各2回(8単位)まで履修・単位修得することができ、かつ修得した単位は修了単位として認められる。
3回目以降(長期履修学生および原級した場合等)の履修・聴講は、成績および単位は認定されるが、修了要件としては扱わない。なお、ここで対象とする「講義」または「演習」は、「研究指導」と共通して開講されるものに限る。
4. 履修方法3以外の「講義」または「演習」は、同一科目を在学中何回でも履修・単位修得することができるが、この場合、修了単位として認められるのは、最初に修得した成績および単位のみとする。
5. 本表に掲げたものの他、指導教授が教育上必要と認めるときは、学則第8条に基づき、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学(協定校)の授業科目を履修することができる(同一科目は1回目のみ修了要件として扱い、2回目以降の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない)。また、上記により履修し修得した単位は、学則第10条の2に基づき、本大学院に入学する前に修得し、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなす単位(既修得単位)と合わせて、10単位を超えない範囲で修了要件に充当することができる。

■専門社会調査士の資格取得希望者は、pp.250～251を参照のうえ、不明な点があれば、2017年度本学連絡責任者(水野 剛也教授)または大学院教務課窓口にも必ず相談すること。

博士後期課程

2014年度以前 入学生適用		授業科目・研究指導			講義・ 演習の 別	職 名	担 当 教 員	備考
単 位	2015年度以降 入学生適用	単 位	科 目 ナンバリング	学 期				
社会心理学特殊研究Ⅰ	4	社会心理学特殊研究ⅠA 社会心理学特殊研究ⅠB	2 2	PSY701 PSY702	春秋	講義	教授 大島 尚	社会心理学研究指導 VA/Bと共通
社会心理学特殊研究Ⅱ	4	社会心理学特殊研究ⅡA 社会心理学特殊研究ⅡB	2 2	PSY703 PSY704	春秋	講義	教授 加藤 司	社会心理学研究指導 IA/Bと共通
社会心理学特殊研究Ⅲ	4	社会心理学特殊研究ⅢA 社会心理学特殊研究ⅢB	2 2	PSY705 PSY706	春秋	講義		本年度休講
社会心理学特殊研究Ⅳ	4	社会心理学特殊研究ⅣA 社会心理学特殊研究ⅣB	2 2	PSY707 PSY708	春秋	講義	教授 安藤 清志	社会心理学研究指導 IIA/Bと共通
社会心理学特殊研究Ⅴ	4	社会心理学特殊研究ⅤA 社会心理学特殊研究ⅤB	2 2	PSY709 PSY710	春秋	講義	教授 松田 英子	社会心理学研究指導 IIIA/Bと共通
社会心理学特殊研究Ⅵ	4	社会心理学特殊研究ⅥA 社会心理学特殊研究ⅥB	2 2	PSY711 PSY712	春秋	講義	教授 久保 ゆかり	
社会心理学特殊研究Ⅶ	4	社会心理学特殊研究ⅦA 社会心理学特殊研究ⅦB	2 2	PSY713 PSY714	春秋	講義	教授 堀毛 一也	社会心理学研究指導 IIIA/Bと共通
社会心理学特殊研究Ⅷ	4	社会心理学特殊研究ⅧA 社会心理学特殊研究ⅧB	2 2	PSY715 PSY716	春秋	講義	教授 戸梶 亜紀彦	
社会心理学特殊研究Ⅸ	4	社会心理学特殊研究ⅨA 社会心理学特殊研究ⅨB	2 2	PSY717 PSY718	春秋	講義	教授 桐生 正幸	社会心理学研究指導 IVA/Bと共通
		社会心理学特殊研究XA 社会心理学特殊研究XB	2 2	PSY719 PSY720	春秋	講義	准教授 尾崎 由佳	社会心理学研究指導 VIA/Bと共通 2015年度以降入学生のみ履修可
社会心理学総合研究①	2	社会心理学総合研究A① 社会心理学総合研究B①	1 1	SEM701 SEM702	春秋	演習	教授 大島 尚	
社会心理学総合研究②	2	社会心理学総合研究A② 社会心理学総合研究B②	1 1	SEM703 SEM704	春秋	演習	教授 加藤 司	
社会心理学総合研究③	2	社会心理学総合研究A③ 社会心理学総合研究B③	1 1	SEM705 SEM706	春秋	演習		本年度休講
社会心理学総合研究④	2	社会心理学総合研究A④ 社会心理学総合研究B④	1 1	SEM707 SEM708	春秋	演習	教授 安藤 清志	
社会心理学総合研究⑤	2	社会心理学総合研究A⑤ 社会心理学総合研究B⑤	1 1	SEM709 SEM710	春秋	演習	教授 松田 英子	
社会心理学総合研究⑥	2	社会心理学総合研究A⑥ 社会心理学総合研究B⑥	1 1	SEM711 SEM712	春秋	演習	教授 久保 ゆかり	
社会心理学総合研究⑦	2	社会心理学総合研究A⑦ 社会心理学総合研究B⑦	1 1	SEM713 SEM714	春秋	演習	教授 堀毛 一也	
社会心理学総合研究⑧	2	社会心理学総合研究A⑧ 社会心理学総合研究B⑧	1 1	SEM715 SEM716	春秋	演習	教授 戸梶 亜紀彦	
社会心理学総合研究⑨	2	社会心理学総合研究A⑨ 社会心理学総合研究B⑨	1 1	SEM717 SEM718	春秋	演習	教授 桐生 正幸	
		社会心理学総合研究A⑩ 社会心理学総合研究B⑩	1 1	SEM719 SEM720	春秋	演習	准教授 尾崎 由佳	2015年度以降入学生のみ履修可
社会心理学研究指導Ⅰ		社会心理学研究指導ⅠA 社会心理学研究指導ⅠB		REG701 REG702	春秋		教授 加藤 司	
社会心理学研究指導Ⅱ		社会心理学研究指導ⅡA 社会心理学研究指導ⅡB		REG703 REG704	春秋		教授 安藤 清志	
社会心理学研究指導Ⅲ		社会心理学研究指導ⅢA 社会心理学研究指導ⅢB		REG705 REG706	春秋		教授 堀毛 一也	
社会心理学研究指導Ⅳ		社会心理学研究指導ⅣA 社会心理学研究指導ⅣB		REG707 REG708	春秋		教授 桐生 正幸	
社会心理学研究指導Ⅴ		社会心理学研究指導ⅤA 社会心理学研究指導ⅤB		REG709 REG710	春秋		教授 大島 尚	
		社会心理学研究指導ⅥA 社会心理学研究指導ⅥB		REG711 REG712	春秋		准教授 尾崎 由佳	2015年度以降入学生のみ履修可
		社会心理学研究指導ⅦA 社会心理学研究指導ⅦB		REG713 REG714	春秋		教授 松田 英子	社会心理学特殊研究 VA/Bと共通

修了に必要な単位等

主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・修得することができる（各研究指導は、指定された講義において行う）。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が研究指導上必要と認めた場合は、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる。

注) 通年制の学生は、「セメスタ」を「年度」と読み替えること。

■ 専門社会調査士の資格取得希望者は、pp.250～251を参照のうえ、不明な点があれば、2017年度本学連絡責任者（水野 剛也教授）または大学院教務課窓口には必ず相談すること。
（資格申請のための要件のうち、p.250（2）②の科目は、博士前期課程開講科目のため、修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない）

社会学
心理学